

令和5年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間(最終))

呉中央中学校区 校番13 呉中央中学校

a 学校教育目標	「自分を育てる」	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉(学校の使命) 小中一貫教育を通して、生涯を自ら豊かに学び続け、 自他を大切にして主体的に生きる根っこを育てる。 〈ビジョン〉(将来の学校像) 「自ら学ぶ力が育つ環境があり、育成すべき資質・能力 が身につく学校」
----------	----------	----------------------	--

c 中期経営目標を踏 まえた現状(進捗状 況)と今年度の重点	これまで、深い学びを促す授業スタイルの定着を目指して授業改善を進めてきた。今年度は、新学習指導要領 の主旨を踏まえ、より一層「主体的、対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善を進めていく。また、長欠 生徒の割合が高い実態を踏まえ、生徒の「心の居場所づくり」及び「積極的な生徒指導」に取り組んでいく。さら に、業務改善を進め、元気で明るい職場づくりに取り組んでいく。
--------------------------------------	--

育成を目指す資質・能力	「知識・技能」「思考力」「表現力」「主体性」
-------------	------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・③ 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目 標 値	上半期			下半期		
						i 達成 値	j 達成 度	k 評価	i 達成 値	j 達成 度	k 評価
***	① 生ききる根っこを 育てる「豊かな学 び」の創造	① 「主体的、対話的 で深い学び」の実 現と基礎・基本の 定着を図る。	① 学園授業スタイルに基づき、 思考過程の工夫を意識した 授業改善を進める。	授業の中で「思考 し表現している生 徒」の割合	90%	88%	98%	B	89%	99%	B
			個別支援プログラムに基づ き、補充学習・質問教室等を 進める。 Qubena等を有効的に活用す る。	学力調査・定期試 験(国・数・英)に おける通過率3 0%未満の生徒の 割合	9%	10%	89%	B	11%	78%	C
			授業と関わりのある課題を設 定し、「呉中央中学校スタン ダード」を活用して、家庭学 習を進める。	各学年の家庭学 習目標時間の達 成率の割合	65%	67%	103%	A	55%	85%	B
**	① 生ききる根っこを 育てる「豊かな生 き方」の創造	① 「自己指導能力」 を高める。	① 「あいさつ」「返事」「時間」「掃 除」の習慣化を図る。	「あいさつ」「返事」 「時間」「掃除」に 関するアンケート の肯定的評価	96%	94%	98%	B	95%	99%	B
			生徒指導の三機能を活か した集団づくりを進め、望ま しい人間関係をつくり、生徒の 自尊感情を高める。	自尊感情に関する アンケートの肯定 的評価	90%	88%	98%	B	89%	99%	B
*	① 生ききる根っこを 育てる「しなやか な体」の育成	① 基本的生活習慣 の定着と体力・運 動能力の向上を 図る。	三点固定(早寝・早起き・家 庭学習)やメディアコントロ ールの指導の充実を図る。	基本的生活習慣(遅 刻)が守れた生徒の 割合	95%	92%	97%	B	94%	99%	B
			① 小中で共通した重点種目を 設定し、9年間を見通した取 組を推進する。	8年生の新体力テス トの結果、昨年度よ り向上した生徒の割 合 * 男子:85%以上 * 女子:50%以上	85%	88% 98%	103% 115%	A	88% 98%	103% 115%	A
					50%	76% 82%	152% 164%	A	76% 82%	152% 164%	A

業務改善	① 業務改善を進め、 元気で明るい職 場を実現する	① 生徒と向き合う時 間を確保する。	① 会議の精選・時間短縮や校 内研修の計画的な実施によ り、勤務時間の有効活用に 努める。	生徒と向き合う時間 が確保されていると 感じる教員の割合	80%	67%	84%	B	77%	96%	B
		① 長時間勤務の縮 減を図る。	部活動規定と一斉定時退校 の厳守を習慣化する。	時間外勤務が月45 時間以下の教職員の 割合	70%	60%	86%	B	67%	96%	B

【k:評価】

A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100
C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60